

インプラントとは？

「インプラント」とは、歯の抜けた場所に、人工の歯根(しこん)を埋め込んで、あごの骨を固定した後、人工の歯を上から装着する治療方法です。

インプラントのメリットとは？

自分の歯のような自然な感覚
噛む力が低下しない
健全歯はそのまま保存できる
審美的(外観)良好

インプラントが適する人とは？

取り外しの入れ歯が嫌いな人、または仕事その他の事情で不都合な人
入れ歯で発音や発声に不便を感じている人
歯が抜けた所を治療するために残っている歯を削られたくない人
総入れ歯が合わず、生活にも支障をきたし、不快感を抱いている人
歯周病などでたくさんの歯がなくなり、入れ歯を装着すると残っている歯に悪影響を及ぼすと考えられる人。

インプラントの特徴とは？



あごの断面図

AQB インプラントは、純チタンと再結晶化ハイドロキシアパタイトという材料からできています。

アパタイトは骨の成分の一つで骨と直接結合する優れた生体親和性をもっています。

インプラントにはさまざまな種類のものがありますが、AQB インプラントは手術が1回で済み、その後噛めるまでに約2ヶ月と、健康な歯に回復するまでの期間がとても早いので、治療における患者さんの心身の負担を軽減します。



1. 歯の抜けた状態

2. インプラントを植立した状態

3. クラウンを装着した状態

インプラントの疑問・質問

インプラントをして、身体に影響はありますか？

インプラントにはチタンという金属が使われ、生体と馴染みやすく、身体には影響はありません。

インプラントが一定の条件で埋め込まれた場合、骨の拒否反応はまったくないどころか、積極的に骨と結合しようとする生体活性材料です。

また、歯が抜けてしまうと、顎の骨はだんだん痩せていき、ぴったり合わせて作ったはずの入れ歯もだんだんずれてきます。

さらに入れ歯が歯ぐきにぶつかる刺激により、顎の骨はますます痩せてしまいます。

その点インプラントは骨の減少を防ぐとともに、骨の代謝を促すため、健康な顎の状態を維持することができます。

さらに、この治療法なら一本だけ抜いてブリッジにしなければならない治療も両側の健康な歯を削らずに済みます。

治療は痛いのでしょうか？

インプラントは歯を抜く場合と同程度の手術が必要です。

麻酔をしますから痛みを耐えながら治療を行うということはありません。

手術後、麻酔が切れると腫れや多少痛みが出る人もいますが、安静にするなどの処置で回復できます。

治療費用は？

費用は、手術/インプラント/インプラントに被せる人工歯の合計です。

治療本数や部位により異なりますので、治療計画と費用については当院にご相談ください。

インプラント治療は健康保険扱いとなりませんが医療控除の対象となります。

治療に伴う入院や生活の支障はないですか？

患者さんの健康状態や治療本数などにより入院し手術をする場合もありますが、たいてい入院の必要はありません。
手術直後は抜歯をした時と同様、安静が必要です。
以後、通常の生活で問題はありません。

治療ができる年齢など制限はあるのですか？

年齢性別での制限はありません。
無歯症の小児や 85 才の高齢者が治療を受け健康歯を回復した例もあります。

顎の状態、体質や疾病(重度の糖尿病やアレルギーなど)によっては治療ができないこともあります。

また治療はできてもケアを維持することができる患者さんであるかなども検討します。

インプラントはどのくらいもちますか？

インプラントは永久的なものではありません。
口の中を衛生的に保つことを心がけ、定期健診をきちんと行うことで 10 年以上良好に維持されている患者さんも沢山います。
正しい手入れがインプラントを長持ちさせることにつながります。

いつから噛めるようになりますか？

使用するインプラントの種類や部位、また患者さんの顎骨の状態などによっても違いますが、AQB インプラントの場合、手術は 1 回で済み、噛めるまでに約 2 ヶ月を目安としています。

インプラントの歯では何でも食べられるのですか？

インプラントに人工歯を被せた最終治療後、よく馴染むまでは無理して噛まずに軟らかい食物にしてください。
その後は通常の食事ができますから、入れ歯や無歯では味わえなかった歯応えのある物でも何でも食べることができます。